

研修会「市民活動団体×市（うちら・わしらと広島市）で、もっとええ"まち"にしようやあ～」

ポップラ・ペアレンツ・クラブによる基町の緑地の運営管理

前 田 文 章

CAQ（ひろしま川通り活用委員会）

このレポートは、2007年3月2日に、広島市中区「地域福祉センター」ボランティア研修室で行われた広島市・市民局市民活動課主催の職場研修会において配布した資料をもとに補筆したものです。これまでの活動を振り返りながら、ポップラ・ペアレンツ・クラブによる運営管理についてまとめました。

同研修会のパネルディスカッションでは、「市民活動の良いところは？」との質問が出されました。「やりたいこと、思いを持っている人が、活動をすること」を挙げると、「“町内会・子ども会”などが主体となってまちづくりをするのが本当なのでは？」という意見が出ました。

この問いについては、「地域課題を解決できなくなっている町内会もあり、よそもの力も必要ではないか」と、なげかけてみました。「私たちCAQ（セアック）の場合は、活動している緑地は地域のものであると同時に、市民みんなの場所でもある」、「でも地域の人の参加を得る努力は今後もつづけていきたい」と伝え、ポップラ・ペアレンツ・クラブを進めていく中で参考となる提案やお話をいただきました。

ポップラ・ペアレンツ・クラブによる基町の緑地の運営管理

(1) 概要

基町の水辺は市内の水辺の中で比較的広々とした緑地となっており、景観に配慮した整備が行われた地区である。大きなポプラの木がこの水辺の緑地のシンボルツリーとなっていた。CAQ(セアック:ひろしま川通り活用委員会)は川通りに名前をつける活動からスタートした。2004年1月、一般公募によって提案された「基町POP'La通り」がこの川通りの「愛称」と決まった。その後、台風で倒れたポプラの植え直しや、水辺をテーマとした活動を行う中で、ポプラの緑地の管理主体である国土交通省・太田川河川事務所と管理協定を締結することになり、2006年7月「ポップラ・ペアレンツ・クラブ」を発足した。いくつかの市民組織と連携し、月に1度、ピクニック、緑地の草刈り、雁木の清掃など管理協定に基づいて活動を行っている。



(2) 管理主体

ポップラ・ペアレンツ・クラブ(もりメイト倶楽部Hiroshima、みずえ緑地(株) NPO 法人雁木組、(株)オフィスミツヒロ、カフェテラス倶楽部、土居建築工房、まちづくりCAFEプロジェクト、CAQ ほか)、

国土交通省・太田川河川事務所

CAQは「ポップラ・ペアレンツ・クラブ」の代表幹事



ポップラの身長測定
25.8メートル!

川通りに
「基町POP'La通り」と
名前をつけて看板を立てた。

(3) 経緯・背景

川通りに名前をつけた

CAQ(ひろしま川通り活用委員会)は、川通りに名称がないことから2003年11月から市内3カ所の川通りに名称を一般公募した(広島市・水辺の市民活動促進助成事業)。公開選考会で「基町POP'La通り」と命名された。その後、この愛称を広めるために、この緑地でイベントやピクニックを行うなどの活動を展開。



ポップラが倒れた夜、
根巻きをした。

翌々日には多くの人に
呼びかけて再生のため
の枝打ちを行った。



倒れたポプラを再生

2004年9月の台風でシンボルであったポプラが倒れた。倒木直後、剥き出しになった根にコモをかけて乾燥を防いだり、樹木医や造園家の協力を得ながら植え直しに耐えるように幹や枝を落とすなど応急手当を行った。これらの活動がポプラの木の再生につながり、最終的には太田川河川事務所によって植え直された。



誰でも参加できるピクニック&カフェ

ベビーポップラの里親探し

倒れたポップラ（木の愛称）の周辺にはたくさんのひこばえがあり、これをベビーポップラと名づけて、里親を募集した。約40本のベビーポップラが各地に引越していった。



夜のピクニックで活躍する蛍イス

さまざまな活動を展開

その後、ポップラの再生（造園家を招いての健康診断、消毒作業など）月1回のピクニック&カフェなどを継続している。また、伐採した枝を使った作品展「丸太ポップラ作品展」やピクニックのためのベンチを作る「蛍ベンチをつくろう～ベンチングアートプロジェクト」などを行った。



ポップラ・ペアレンツ・クラブ発足

2006年7月21日、河川管理者である太田川河川事務所と協定を結び、ポップラ・ペアレンツ・クラブが発足した。「愛される水辺の創出」をテーマに草刈り、雁木の清掃などの維持管理活動から、にぎわい創出のためのイベントの実施などを行うこととなった。



さわさんがポップラを背景に一人芝居を演じた、約200人の観客でにぎわった。

PPCの活動

ポップラ・ペアレンツ・クラブ（略称：PPC）は第4土曜日を定例活動日として草刈り、清掃、雁木清掃、ピクニック&カフェ、灯りの夜会などを実施している。

漫画「夕凧の街 桜の国」との縁
広島原爆をテーマとして、この水辺も
舞台の一つとなっている漫画「夕凧の街
桜の国」の作者、この史代さんを現地
に案内した2005年につづき、2006年は、
同作品の一人芝居を行っている津和野高
校演劇部のさわさんを招いて8月6日に
ポップラの前で芝居を披露していただく。
その翌週には同作品の映画のロケが広島
で行われ、この夏の公開にあわせて、こ
の場所で野外試写会を実施したいと企画
中（2007年3月現在）。

中野区にベビーポップラを
「夕凧の街 桜の国」の作者、この史
代さんは広島出身で中野区在住。この
さんの取り持つ縁で2006年3月、中野区
の平和の森公園にベビーポップラを植樹
し、区長も参加し植樹式を行った。一本
のポップラをテーマとして、予想していな
かったさまざまな活動が展開されている。

(4) 今後の課題

地域に住んでいる方にもっと参加して
いただくこと。そのために、ピクニック
&カフェ、野外映画上映会、ナイトカフ
ェなどを継続したい。

緑地帯の管理に必要な機材・備品（刈払
機、発電機、肥料など）は管理者から
貸与されているが、機材の燃料費などは
実費が伴い、これらはPPC（ポップラ・
ペアレンツ・クラブのこと）活動の中か
ら捻出できるように仕組みを探っている。
たとえばオープンカフェは、ワンコイン
カフェ（たとえばコーヒー100円、お菓子
100円）として、ご支援をいただくなど。



草刈りは1日仕事、ポップラの周囲には新しいベビー
ポップラが育っている。後継者として育成する予定。



刈った草の山を前に記念撮影



灯りの夜会ではペットボトルで作ったキャンドルを
約250個を並べた。ワンコインカフェとしてコーヒー、
お菓子をサービスしている。